



2023年5月15日

第694号

1部10円(組合員は組合費に含む)
郵便振替00960-7-111274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

第94回中之島メーデー 帰つて来た！普通のメーデー

第94回中之島メーデーが5月1日、中之島公園剣先ひろばで開催されました。休日開催だった昨年からは参加人数を減らしてしまいましたが、450名参加の賑やかな大会となりました。2020年からコロナ禍での開催、消毒、黙食、雨嵐と乾杯までなかなか、こぎきれないメーデーが続きました。今年は、乾杯まで繋ぐ久々のメーデーです。

全日建連労組、湯川委員長の開会挨拶がスタートを切りました。無駄のない、洗練された語り口は、私たちを引きつけます。内容は、労働基本権を守らせよう！ただ、そ



れだけなのですが、そうはない歪んだ状況が、関生を襲っています。これを放っておくと労働者全体を潰しにかかります。今、踏ん張りどころ。ひとりで、一組で頑張るのではなく、連帯して頑張ろう。深い話をシンプルに力強く、スタートに相応しいメッセージでした。今は、地方選挙の真っ只中。政党、議員の皆さまからのメッセージが熱いです。熱いメッセージより

さらに熱い「月桃の花歌舞団」のエイサーが開場を魅了します。エイサーに見入る参加者の頭には、軍事要塞化が進む沖縄南西諸島がよぎったことだと思います。



集会は、争議団アピールへと続きます。今年のメーデーの特徴は、東リ偽装請負争議が違法派遣を認めさせ、正社員として職場復帰したというビッグな報告、まだまだ、た



たかいは続きますが、関生支部の活動を威力業務妨害などとしていた事件が3月6日に逆転無罪、検察は上告断念、無罪確定という大きな勝利報告、他にも拍手を受ける報告が有り、上昇ムードにつつまれたことでしょうか。メーデーアピールを採択し、団結ガンバロー。上昇ムードが街に流れ出ます。ほどよい風が旗に元気を与えます。そして、乾杯へ。いい1日でした。

高田晴美（副執行委員長）



新型コロナ5類移行でどう変わる？

大阪府は4月27日、組合に新型コロナウィルス感染症の位置づけ変更を機に職務専念義務等の廃止を提案しました。5月8日から実施とする提案にもかかわらず、協議期間は5月1日までと実質協議は不可能であり、組合は教職員が罹患した際の対応についてのみ確認しました。

2020年2月以来、何度も服務の取扱が変更され、現場でも混乱が続きましたが、今回の大きな変更点は、新型コロナウィルス感染を疑われる症状、ワクチン接種時およびそ

の後の副反応による療養、濃厚接触者としての待機のための職務専念義務が廃止されることです。

一方、実際に新型コロナウィルスに罹患した際の対応については、病気休暇あるいは年休としています。一般的に病気休暇については、医師の診断書が必要とされていますが、新型コロナウィルスおよび季節性インフルエンザについては診断書ではなく、罹患が証明されるもの処方箋等で代替できるという点については変更しました。

学校保健安全法で規程される感染症について、組合はすべての労働者に十分な療養の機会を与えるべきだと要求していましたが、今回の変更により有給の病気休暇のない会計年度任用職員は無給の病気休暇を取得しなければならなくなります。

また、テレワーク（在宅勤務）についての変更はありませんので、自身の健康状態に不安がある場合には積極的に活用していくべきです。

酒井さとえ（書記長）

当面の日程

- 5月27日（土）エルおおさか第35回定期大会 14:00 開催
全体会 本館5階 視聴覚室
4分科会 501号室 504号室
研修室I 視聴覚室
- 6月3日（土）エルおおさか 6F
14:00～16:30 教科書全国集会2023
琉球弧の軍事要塞化と戦争教科書
講師：北上田毅さん（沖縄在住）
- 6月8日（木）エルおおさか701
大阪全労協学習会 18:30
講師：服部恭子さん（きょうとエオ）
- 6月16日（金）PLP会館中会議室
18:30 朝鮮戦争停戦70周年講演会
停戦70年を平和協定の元年に！
主催：日韓平和連帶

23春闘賃上げ闘争 各職場からの報告

4月20日、大阪全労協主催の春闘交流会が行われました。

ゼネラルユニオンと郵政ユニオンからの詳しい報告の後、参加組合からも春闘の取り組みが報告されました。

ストライキを構えて賃上げを

ゼネラルユニオンは、教育合同と同様に「非正規」労働者を多く組織する組合です。そのため、年度末はまず組合員たちの雇用の確保、労働時間の確保（「コマ数」）が主たるたたかいとなります。それでも大手英会話教室を相手にストライキを背景として賃上げ要求を通す積極的なたた

かいについて報告されました。また、地方公共団体に雇用されるALT（英語指導助手）の問題については、各自治体との交渉では根本的な問題の解決は不可能であるため、国の政策転換要求も視野に入れてたたかう必要を訴えました。

賃上げムードを粉飾??

郵政ユニオンからは、物価高騰下での賃上げ闘争について具体的な報告がありました。

春闘アンケートの実施により現場の労働者の声を集め、今春闘では7回に及ぶ団体交渉とストライキ闘争を行っています。7年連続のベースアッ



ゼロが続くなか、5.11%の賃上げ回答となったことは、民営化後初と大きく報道されました。その内実は「非正規」の均等待遇をはかるとしてあろうことか正社員の夏期冬期休暇を削減した分までも賃上げ材料として算出するなど、「粉飾決算」と批判しました。

組合からも、ゼネラルユニオン同様、地方公共団体で働く「非正規」の雇用確保のたたかいについて報告を行いました。物価高騰下賃上げはもちろんですが、不安定な雇用を開しなければ生活は成り立ちません。特に、会計年度任用職員導入から3年を経た今、ますますその不安定さは増しています。それらを無視した上での「働き方改革」など荒唐無稽な話です。一人ではなく労働組合に入ってたたかう必要があります。

田辺岸代（執行委員）

文化おちこち (256) ピースボート日記 (1)

私は昨年3月に教員を定年退職しました。2020年から早期予約していた2022年4月出航のピースボートにすぐさまとび乗る予定でしたが、コロナ禍が収まらず残念ながら延期。ようやく今年4月8日に神戸港を出港しました。西回りに地球を一周し、7月24日に神戸港に戻ってくる予定です。

ピースボートが始まったのは40年前の1983年。歴史教科書の「侵略」の記述を「進出」に書き換えるなど、いわゆる「教科書問題」の中で、若者が中心となってアジアの戦跡を船で訪ねることから始まりました。当時は大学生でしたが、参加したいと思っているうちに教員になり参加する機会を逸したまま40年が経ってしまったという訳です。

4月25日現在、シンガポールにいます。4月13~15日はマニラ、22日はバリ島に停泊していました。マニラでは教育合同が30年ほど前にフィリピンの教員組合ACTとの交流活動の中で訪

れたスモーキーマウンテンに、2人の参加者と一緒に行きました。当時はごみ集積場の上にパラックが集まり、人々は資源ごみを集めながら、共同体を作つて教会や学校の運営をしていました。当時から危惧されていたことです。日本をはじめとしたODAによる貿易港を整備するため強制的な立ち退きが計画されていました。今回は、タクシーからしか見ることができなかったのですが、現在はほとんどの建造物が撤去されて木々が茂り、住居は以前より窮屈な海岸沿いに押し込められているようでした。街中にいるストリートチルドレンの生活も30年前と比べて改善しているとは思えませんでした。その中でも、「日比国際児」とその母親を支援するNGO「DAWN」を訪ねその取り組みを学べたことは、ピースボートならではでした。

船内でも、ピースボートスタッフや、鎌田慧さん、伊藤千尋さんなど水先案内人（特別講師）のお話を聴いたり、若い世代と一緒にフェスティバルや自主企画を計画したりしながら、楽しく、忙しく、充実した日々を過ごしています。【まっすん】

天国行っても友達いない

エッセイ 「8333h.」
好よし著 清風堂書店出版

おはようと
乗せて運んで
職場へと
お疲れ様と 自宅に送る

大学を卒業して働き始めてから退職するまでの40年間、ほぼ同じ時間帯の通勤電車に乗りました。その時間を計算してみたら8333時間もあり、ほぼ1年間に相当します。混みあつた車内は暑苦しくて決して居心地はよくありませんでしたが、たくさんの場面や多くの人に出会いました。息子の結婚相手を探している女性に声を掛けられたり、自分とよく似た顔の人に出くわしてお互い笑い合ったり、高校

生の娘の通学靴をホームに這いつくばって一生懸命磨いているお父さんに腹を立てました。また走行する音を聞きながら自分を顧みたり、迷っていたことを決心したりもしました。この本は何気なく書き留めていたことをエッセイにしました。

今ではほとんどの人は電車内でスマホを見ています。そしてここ2、3年はコロナの影響で車内で会話を聞くことも減り、乗客どうしが偶然の関係性をもつことは滅多にありません。しかし様変わりした今だから読んで、車内もまるで悪くないなと思っています。

Amazon、楽天ブックス
各書店、組合事務所で販売中。
定価1100円 事務所割引有



始まりは「軍」を「自衛隊」に言い換えて、憲法九条違反を回避▼最近は、「武器輸出三原則」を「防衛装備移転三原則」に言い換えて武器輸出を可能に▼さらに、「軍事研究」を

「安全保障技術研究」に言い換えて、国が多額の研究開発費を準備▼台湾危機を高唱して、「敵基地攻撃能力」を「反撃能力」に言い換えて長射程ミサイルを開発する▼残るは「徴兵」、「召集」だろうが、どう言い換えるのか？